

石油連盟 流出油拡散・漂流予測モデル開発経緯

我が国の沿岸及びその周辺海域において油流出事故が発生した場合に、流出油防除等の緊急対応策を実施するにあたり、事故発生後の早期に油の移流先、拡がり範囲、沿岸への漂着の可能性ならびに、天然資源への影響等を予測し、適切な事故対応計画の策定が必要となります。

このため、石油連盟では経済産業省から大規模石油災害対応体制整備事業費補助金の交付を受け、「流出油拡散・漂流予測モデル」を開発した。

開発経緯は以下のとおり。

平成2年度		文献調査
平成3年度		概念設計 約37の国内外の既存予測モデルを評価、
平成4年度		東京湾モデル詳細設計、プロトタイプモデル作成
平成5年度		東京湾モデル作成
平成6年度		伊勢湾、大阪湾、瀬戸内海等閉鎖性海域モデル作成、
平成7年度		外洋(日本海、太平洋、北海道、沖縄)予測モデルの作成
平成7年11月	Ver1.0	東京湾、伊勢湾、大阪湾、瀬戸内海等の閉鎖性海域モデルリリース
平成8年9月	Ver2.0	閉鎖性海域および4外洋海域(12海域)を予測対象とするモデルリリース
平成9年3月	Ver3.0	鉛直分散完全対応、気象データオンライン対応モデルに改善したモデルリリース
平成9年4月		12海域対象予報気象データオンライン対応システム24時間運用開始
平成9年7月		東京湾でのダイヤモンドグレース号油流出事故シミュレーション実施。TV,新聞で紹介される。
平成10年7月	Ver4.0	日本沿岸全海域対応予測モデル((日本沿岸海域対応版)リリース
平成10年7月		日本沿岸海域に対応した予報気象データオンライン配信システムの24時間運用開始
平成11年10月	Ver4.1	機能拡張及び修正モジュール搭載改良モデルリリース
平成12年12月	Ver5.0	脆弱海域地図情報機能搭載モデルリリース
平成15年6月	Ver6.0	日本沿岸海域版改良モデルリリース
	Ver6.0	オホーツク海域対応版リリース
平成15年6月		日本沿岸海域およびオホーツク海域に対応した予報風速データのオンライン配信システムの24時間運用開始。予報気象データは、従来の51時間予報に加えて192時間予報データ対応に改善
平成16年10月	Ver6.0R	オホーツク海域版の測地系改善版ダウンロードリリース
平成16年12月	Ver7.0	世界測地系対応V7.0ベータ版(日本沿岸海域、オホーツク海域版)ダウンロードリリース
平成17年4月		Ver7.1およびVer6.0RE対応 世界測地系予報風速データ24時間運用開始
平成17年6月		世界測地系対応版4モデルダウンロードリリース
	Ver7.1	日本沿岸海域版
	Ver7.1	オホーツク海域版
	Ver7.1	東南アジア海域版
	Ver6.0RE	オホーツク海域英語版